

健康経営の取り組み実績（2024年度）

※データの集計範囲は国内グループ会社

■ 施策と取り組み結果

中期健康管理施策「健康Action2025」：別紙 取り組み実績（KPI）

● 健康保険組合との協働施策

がん検診受診率(定期健康診断と同時に実施しているがん検診)	2022	2023	2024
胃がん	54.6%	53.3%	54.7%
大腸がん	71.4%	71.3%	70.5%
乳がん	58.9%	62.2%	57.4%
子宮頸部がん	48.3%	51.1%	47.3%

● 健康関連データ

その他の施策	2022	2023	2024
定期健康診断受診率	100%	100%	100%
ストレスチェック受検率	97.2%	97.2%	96.7%
定期健康診断後のハイリスク者への保健指導実施率 ^{*1}	99.5%	98.9%	99.8%

● 健康関連の最終目標指標（KGI）

※データの集計範囲はセイコーエプソン単体

	2022	2023	2024
プレゼンティーズムの低減 ^{*1}	-	13.8%	9.5%
アブセンティーズムの低減 ^{*2}	1.59%	1.63%	1.50%
ワークエンゲージメントの向上 ^{*3}	2.49Pt	2.50Pt	2.48Pt
自主的離職率の減少	2.2%	1.2%	1.5%

^{*1} 測定方法：WFun

^{*2} 測定方法：1週間以上の脳・心疾患及びメンタル休務者の割合

^{*3} 測定方法：新職業性ストレス簡易調査票

2024年度実績：測定人数11,821人 回答率87.8%

2024年度実績：測定人数12,103人 回答率100%

2024年度実績：測定人数12,454人 回答率97.0%

■ 取り組み効果実績

● 意識変容・行動変容に関する指標の取り組み効果

① がん検診要精密検査者の受診率向上

「健康Action2025」では、定期健康診断の要医療者だけでなく、がん検診の要精密検査者の受診率も目標値を設定し、健康保険組合と連携をして取り組んでいる。

従来、定期健康診断を合わせて実施をしているがん検診について、健診結果通知と合わせて、事業主から精密健者の受診勧奨を実施していた。

2022年度は健康保険組合と連携して要精密検査者の受診率の把握を行った。その結果、受診率が67.0%であり、受診勧奨の強化が課題となった。

2023年度より、事業主からは、当社のがん罹患率が分かる資料を作成し、それを用いて受診勧奨を実施した。健康保険組合からは、健診結果通知の数か月後に未受診者に受診勧奨のメールを配信した。

さらに、2024年度にはリテラシー向上を目的に全従業員対象としたe-ラーニングを実施した。

その結果、受診率は、2023年度71.1%、2024年度70.7%と2022年度比では受診率向上した。

更なる受診率向上に向けては、要精密検査者が受診しない背景を捉え、より効果的な施策を検討してく。

② 高リスク職場の改善

メンタルヘルス不調の予防には職場環境改善が重要であり、高リスク職場0%を目標に掲げ取り組んでいる。高リスク職場への支援により、継続して高リスクになった職場割合は減少したが、新規で高リスクとなった職場は、2022年度0.4%→2023年度1.4%と増加したため、高リスク職場への支援だけではなく、新規高リスク職場が発生しないよう未然防止が課題となった。

未然防止のため、新規高リスク職場発生防止のための事例検討を追加した管理監督者研修を実施し、216名が受講した。またリーダー層には、傾聴を中心としたラインケア研修を実施し、99名が受講した。

2024年度の新規高リスクとなった職場は1.2%と前年度比で横ばいであり、研修の見直しだけでは未然防止の取り組みに繋がらなかった。新規高リスク職場へのヒアリングから、事業戦略による一時的な高負荷も要因であることがわかった。そのため今後は、各事業との密なコミュニケーションにより、的確なアセスメントを行ったうえで事業に即した職場改善活動を実施する。

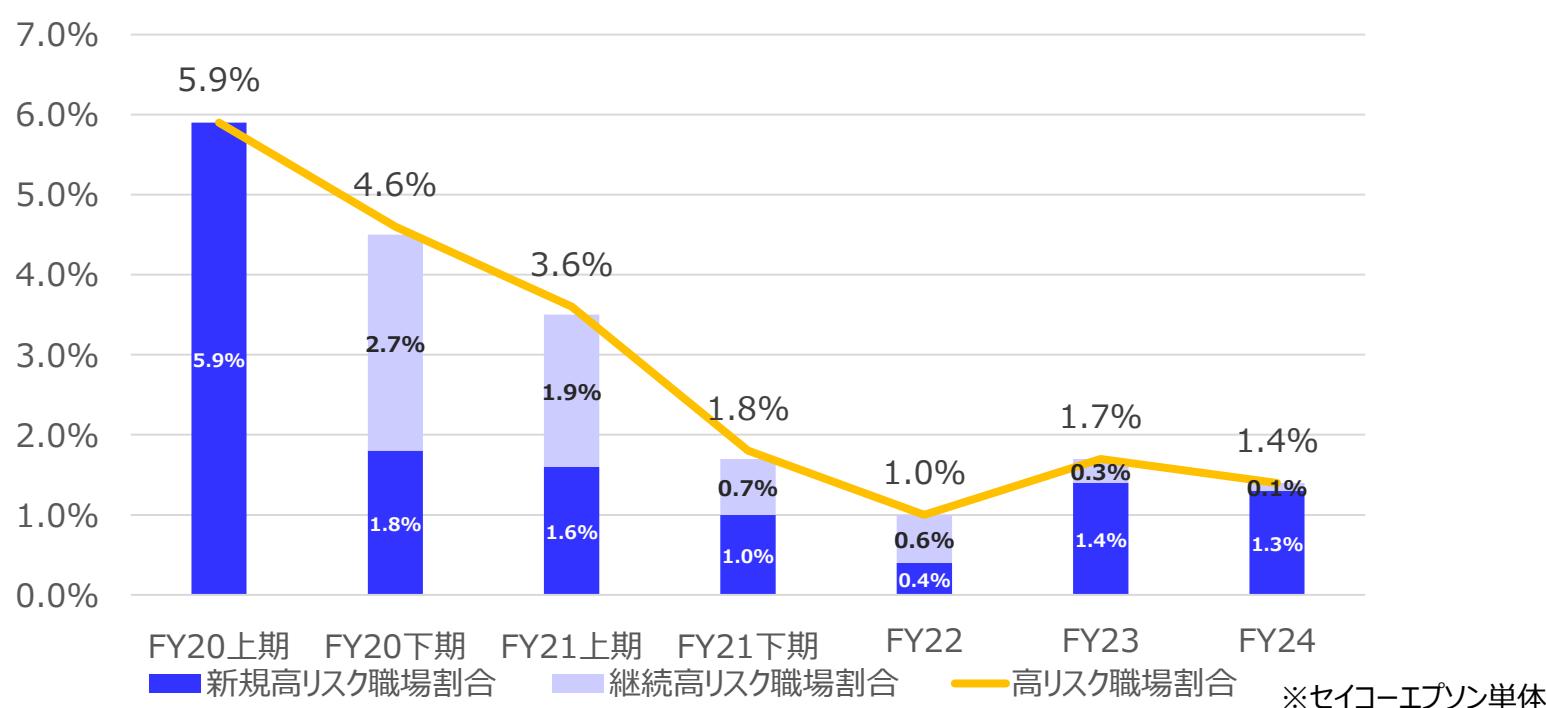


図1 高リスク職場割合の経年変化